

## 社会科標準問題

平成29年度

## 注意

1. 問題は1から5までであるが、そのうち4題を解答すること。どの4題を解答するかは、学校の指示に従うこと。
2. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に指示通り記入すること。
3. 所要時間は50分とする。
4. 解答用紙の選択した(または指定された)問題番号の□に○を記入すること。

大阪府高等学校社会(地歴・公民)科研究会

1 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

近年の政治を論じる際に、しばしば「ポピュリズム」という言葉が用いられる。この言葉はある意味では極めて「民主的」であるにもかかわらず、「民主主義」の問題点を指摘する際にしばしば用いられる。その問題点とは何か。この問題に関する議論の原点をプラトンの思想の中に見ることができる。

民主主義を意味するデモクラシーとはギリシア語の“デモクラティア”、すなわち「多数派の支配」から来る言葉である。(a)古代ギリシアのポリスの一つであるアテネでは直接民主制に基づく政治が行われていた。そのような体制にあるアテネで活躍したのは(b)ソフィストと呼ばれる人々であった。プラトンの師である(c)ソクラテスはソフィストのような人々が重んじられる社会に対し批判を加えている。

プラトンはこのソクラテスの思想を受け継ぎながら、(d)イデア論に基づき民主主義に対する批判を展開する。プラトンによれば最高の価値を持つイデアである善のイデアを認識する者は、(e)知恵の徳を持ち、善い国家とは何かを知る者であるとされる。国家のあるべき姿について知恵を持たない民衆が、正しい政治的な決定を行うことは不可能である。したがって、(f)知恵のある者が独裁的に統治する国家が最も理想的な国家であると考えたのである。

プラトンがこのような考えに至った一つのきっかけが、ソクラテスの死にあるということ。しばしば指摘される場所である。ソクラテスはアテネの民衆を正しい方向へと導こうとしながら、「(g)国家の神々を認めず、青少年を墮落させた罪」によって死刑に処せられた。ソクラテスは逃亡できる状況にありながらも、(h)法に従う道を選び、自ら命を絶った。プラトンの思想の根底に、師を死刑に追いやった民衆の愚劣さと民衆を扇動した政治的指導者への怒りがあったことは否定できないだろう。理想の国家像を持たない無知な民衆が権力を持つ民主主義は必ず国家を墮落させる。何が真理かを知らない民衆は、口先だけの扇動家を国家の指導者に選んでしまう。これがプラトンの確信だったのである。

後にプラトンの弟子であるアリストテレスはこのようなプラトンの政治思想を(i)極端すぎるものとして批判し、(j)社会の中で実現すべき正義について具体的に論じている。たしかにプラトンの主張は極端であり、独裁制を肯定する言説は大きな危険性を持つものであろう。しかし現代の政治を知るものであればプラトンの民主主義に対する批判は妥当であるように感じられるのではないだろうか。

「ポピュリズム」はしばしば「大衆迎合主義」と訳される。すなわちポピュリズムに対する批判とは、プラトンが問題にした「理想の国家像を持たず大衆を扇動する統治者」と「そのような統治者を無批判に支持してしまう民衆」に対する批判と類似のものと言えるだろう。このような「統治者」と「民衆」に支えられた民主主義は墮落の道を進むというプラトンの警告を心にとめ、現代の民主国家に生きる全ての人々は、統治者に対する批判的な視点を持ち続けることを忘れてはならないのである。

問1 下線部(a)に関連して、ポリスの一つであるミレトスにおいて自然哲学が生まれたが、自然哲学者についての記述の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

- ア. 自然哲学の祖とされるタレスは生命あるものは全て湿り気を持っていることから、万物の根源は水であると主張した。
- イ. 「有るものはあり、有らぬものはあらぬ」と述べたエンペドクレスは、世界は分割不可能な永遠不変の一つの実在であると主張した。
- ウ. 「万物は流転する」という言葉で知られるヘラクレイトスは、アトムとの組み合わせが変化することによって、この世界は生成変化していると主張した。

- ① アー正 イー正 ウー正                      ② アー正 イー正 ウー誤  
 ③ アー正 イー誤 ウー正                      ④ アー誤 イー正 ウー正  
 ⑤ アー正 イー誤 ウー誤                      ⑥ アー誤 イー正 ウー誤  
 ⑦ アー誤 イー誤 ウー正                      ⑧ アー誤 イー誤 ウー誤

問2 下線部(b)の思想についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人間は万物の尺度であるという言葉に表されているように、伝統に盲従するのではなく、人間が自らの知に基づき普遍的な価値を探求すべきであると主張した。  
 ② 客観的な真理が存在することを否定し、それぞれの知識の価値は、それを認識する人間とのかかわりによって決定されるものであるとする相対主義を主張した。  
 ③ 弁論術の職業教師として活動しながら、人間が生きる上で重要な価値について考察を深め、「ただ生きるのではなく善く生きること」が重要であると主張した。  
 ④ 国家の法や慣習などのノモスの価値が相対的なものであるのと同様に、自然を意味するピュシスの価値も相対的なものに過ぎないと主張した。

問3 下線部(c)のソクラテスについての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人々が自ら真理を見出すことが重要であると考えたため、人々に真理を教授するのではなく、それを見出す手助けをする助産術を用いて真理を探究した。  
 ② 多くの人々が、富や名誉などの表面的な事柄に配慮する一方で、唯一絶対の神への信仰を持つという魂への配慮については軽視していると批判した。  
 ③ 魂が優れたものになるためには「何が善い行為か」を知るのみでは実践できず、実践するように努力することが必要であるとして、知行合一の重要性を説いた。  
 ④ アルケーについて無知であることを自覚した無知の知を出発点とし、自分自身の無知を克服することで、真の知に至ることができると考えた。

問4 下線部(d)のアイデア論についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アイデアとは個物に内在するものであり、例えば私たちが犬を見た時にそれが犬であると分かるのは、その犬の中にアイデアが存在しているからである。  
 ② 人間が美しいものを追い求めるのは、完全な美しさであるアイデアにあこがれるエロースが神によって万人に平等に与えられているからである。  
 ③ ある犬を見た際にそれが犬であると判断できるのは、私たちが子どもの頃から経験的に学んだアイデアを想起することによってである。  
 ④ 私たちがバラの花を見て美しいと思うのは、感覚的に認識したバラの花の姿を通じて、理性的にアイデアを認識しているからである。

問5 下線部(e)に関連して、以下の文章はプラトンが「理性」、「気概」、「欲望」の関係を比喩を用いて説明しているものである。この文章を参考にして、プラトンが考えた正義の徳を得るための方法についての記述として、最も適当なものを下の①～④のうちから一つ選べ。

魂の似すがたを、翼を持った一組の馬と、その手綱をとる翼を持った馭者とが、一体になってはたらく力であるというふうに、思いうかべよう。一神々の場合は、その馬と馭者とは、それ自身の性質も、またその血すじからいっても、すべて善きものばかりであるが、神以外のものにおいては、善いものと悪いものがまじり合っている。そして、われわれ人間の場合、まず第一に、馭者が手綱をとるのは二頭の馬であること、しかもつぎに、彼の一頭の馬のほうは、資質も血すじも、美しく善い馬であるけれども、もう一頭のほうは、資質も血すじも、これと反対の性格であること、これらの理由によって、われわれ人間にあっては、馭者の仕事はどうしても困難となり、厄介なものとならざるをえないのである。

『パイドロス』

- ① 理性的部分を気概的部分が手助けして、欲望的部分を抑えることによって、魂全体が調和し、正義の徳が得られる。  
 ② 理性的部分が気概的部分を抑え、さらに気概的部分が欲望的部分を抑えることによって魂全体が調和し正義の徳が得られる。  
 ③ 理性的部分と気概的部分、欲望的部分がそれぞれ最大限に能力を発揮することによって互いが抑制され、魂全体が調和し正義の徳が得られる。  
 ④ 理性的部分と気概的部分が対等に協力して欲望的部分を抑えることによって、魂全体が調和し、正義の徳が得られる。

問6 下線部(f)について、プラトンは哲学者が統治者となる哲人政治が理想であると考えていたが、哲学者であり統治者でもあった例としてマルクス＝アウレリウスがあげられる。このマルクス＝アウレリウスが属するストア派の思想についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 肉体的な快楽を追い求めることから解放され満足して生きる、何事にも心が動じない境地を理想として考え、そのような境地に達するためには、煩わしい俗世での生活を捨てて、欲望を捨てた生活を実践することが必要であると説いた。  
 ② 外界からの影響によって心が乱されることのない状態が望ましいとして、そのような状態に至るためには感情や欲望は物質的なものの働きに過ぎないとする唯物論を受け入れることが必要であると説いた。  
 ③ 人の力が及ばないことを運命として引き受けることによって、心の平静さを保つことを目指し、そのためには富や名声などを追い求める情念をロゴスによって抑えて生きることが必要であると説いた。  
 ④ 世界を超越した存在である一者との合一を最終的な目的として、その目的を達成するためには、肉体的欲望や物質的束縛から自らの魂を解放し、魂を浄化することが必要であると説いた。

問7 下線部(g)に関連して、古代ギリシアにおいては多神教が信仰されていたが、キリスト教においては唯一絶対の神が信仰の対象となっている。キリスト教における信仰についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 律法を守る者には神による救済が与えられ、律法を破る者には神による罰が下されるとして、律法を遵守し、律法に反する行為を行わないことが絶対であると考えられていた。
- ② ニケーアの公会議において神は三位一体の存在であることが定められたが、この三位一体とは、神は父・子・聖霊という三つの位格を持ちながらも本質としては一なる存在であるという意味である。
- ③ 信仰・希望・愛が三元徳という基本的な徳として捉えられており、これらの中でも特に愛は重要なものとされ、神を愛する人間のみ、神によって神の愛が与えられることが説かれている。
- ④ 信仰は理性に反するものであると考えられていたため、教父たちは一貫してギリシア哲学に対して敵対的な姿勢を崩さず、哲学的な要素を排除して、キリスト教の教義を確立した。

問8 下線部(h)に関連して、イスラームにおける法はシャリーアと言われ、クルアーンに基づくものである。このクルアーンについての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① クルアーンはイスラームの開祖であるムハンマドの言葉をまとめたものである。
- ② クルアーンに書かれている神の命令に従うことは天命として五行に含まれている。
- ③ クルアーンには宗教的なことのみならず日常的な事柄についても規定されている。
- ④ クルアーンはイスラームにおいて唯一の聖典であるとされている。

問9 下線部(i)に関連して、アリストテレスにおける徳についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 知恵の徳は人々の生活に役立つことを探求するテオリアの活動によって得られる。
- ② 倫理的徳は日々の生活に関わるため知性的徳よりも重要なものとされている。
- ③ 人間にとって最も幸福な生活は中庸を判断する思慮の徳を得た生活である。
- ④ 過度でも不足でもない中庸を選ぶことが習慣化されることで倫理的徳は身につく。

問10 下線部(j)について、調整的正義の例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 不当な宣伝を行った企業に対し、それによる被害者に対する賠償を命じた。
- ② 熱心に営業活動を行い、最も優秀な営業成績を記録した従業員を表彰した。
- ③ ある店舗で粗悪品を扱った結果、地域の住民に悪評が広がり、客足が激減した。
- ④ 斬新なアイデアを盛り込んだ商品が大ヒットしたため、企業の業績が向上した。

2 下の会話文は、この夏ついにタイムスリップ・ドローンを完成させた二人の倫理大好き高校生の会話である。二人の会話を読み、下の問いに答えよ。

豪太：いよいよタイムスリップ・ドローンを完成させたで！ 時空を超えて唐・天竺を飛び回り、古代東洋思想のエライ人たちの姿を空の上から見てみようと思うてる！

朱音：唐・天竺って、君は南都の学問僧か！ ま、いいわ。早速飛ばしてみましょよ、まずはインドから！ 豪太君、時間を約 2500 年前に戻してよ！ あれえ、なんか憂鬱な顔した青年が馬車に乗って町に行く人たちを眺めてるわ。あの方はきっとゴータマ・シッタダッタさんやと思う。(a) 悩んではる雰囲気が全身から出てるもん！？

豪太：時間の進み方を何倍速にもして、彼のその後を見てみよか！ 菩提樹の下で端然と坐禅組んではる姿は、悩みが消えたんか穏やかな顔つきやな。

朱音：もっと時間を進めようよ！ おっ、ゴータマさんが今度はガンジス川周辺を歩きながら説教してはる！(b) バラモン教の祭司たちとは違う教えを説いてはるみたい。夜になったよ！ 今夜泊まる富者の家に入りはった。おっと、ゴータマさんと静かに話してる人がいる。雰囲気から同じように王家出身のヴァルダマーナさんやないかな……。お互い冷静やけど、(c) 話は合わないみたいよ。

豪太：おやおや、時間を速めすぎた！ いかん！ゴータマさんが北を枕に横たわってはるわ。周りで弟子たちや森の動物たちが悲しみにくれてるよ。(d) 涅槃寂静の境地に入りはったわけか。(e) 僕たちかって、静かな境地にいたれるんやろか？

朱音：君は無理かもよ……。おやおや、突然ドローンが暴走して紀元後 4～5 世紀のインドあたりをさまよってるようよ！ 今のパキスタンのペシャワール生まれの二人の学問僧が話してはる。お兄さんにあたる人が、(f) 大乘の教えを軽んじる弟を諭してるみたい。そう言えば、あの二人の立像が今年の秋、東京の運慶展で展示されてるって！？ この春には奈良でも快慶展があったし、鎌倉時代の慶派の仏師たちって凄いよね。

豪太：然り！この二人の学問僧と同じ頃なんや、法顕さんが陸路インドに来て海路帰らはったんわ。7 世紀には玄奘さんも来てはる。昔の人の気力と体力に脱帽や。

朱音：じゃ、ドローンをその中国に飛ばそうよ！おや、これは現在ね、山の上に街があるわ。これは天空の街「天街」よね。としたら、ここは、もしかして……。

豪太：教材研究と称して世界中遊び回っているわれらがドローン先生が、授業中写真見せて「スゴイで、スゴイで！」と興奮してた泰山やと思う。

朱音：古代中国の王や皇帝が即位したときに歩いて登って、儀式をしたとこやってね。秦の始皇帝も清の康熙帝・乾隆帝も 6293 段の石段をフーフー言いながら登ったわけや。

豪太：ようし、この地で時間を秦より前の時代に戻してみよう。おお、(g) 孔子らしき人も登ってる。彼の「泰山に登ったら、天下も小さいなあ」はこの時のことばか……。始皇帝はどうなん？見てみようや。おお、歩いてはるわ。彼は(h) 韓非子や李斯を用いた人やな。

朱音：泰山の麓の岳廟というところに李斯の字が残ってるって、先生、感激に震えてたね。

豪太：あの先生、すぐ感激するもんな！ 感激したら、次の休みにもうそこに行ってるし。

朱音：泰山は道観、つまり道教寺院でもあるらしいね。時間を戻して(i) 老子さんを探そう。

豪太：よっしゃ！ 牛の背中に乗った爺さんが関所の役人に何か語ってるね。実在が定かやない人かもしれんから(j) 老子かどうかわからんけど……。彼が孔子さんと会見したっていう遺址が古都洛陽にあると聞いて、ドローン先生、洛陽旧市街を探し回ったらしいけど、わからなかったって！時代的にありえへん遺跡まで探してどうすんねん、と思うわ。

朱音：その代わり、有名な『蜘蛛の糸』に出てくるかんだた韃陀多ゆかりの門を洛陽で見つけた言うて先生、またしても興奮してはったね。

豪太：センター試験も倫理だけは、僕ら自力で勉強せな、えらい目にあいそうやな……。



泰山：登頂口



天街入り口：ここまで石段



泰山の麓：岳廟にある  
李斯の真筆（伝）を見る  
観光客

問1 下線部(a)に関して、釈迦族の王子ゴータマ・シッダッタ（以下ブッダ）は若いころ、町に出て老人と出会い、病人と出会い、死者と出会うなど、人生のさまざまな苦をまのあたりにした。最後に出家者と出会い、その安寧な姿を見て出家の意志を固めたという。この逸話を何というか？最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 六波羅蜜      ② 四苦八苦      ③ 六師外道      ④ 四門出遊

問2 下線部(b)に関して、次のア～ウのうち、バラモン教についての説明として正しいものはどれか。その組合せとして最も適当なものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

ア ブッダが活動していたころ、バラモン教では『ヴェーダ』に記された戒律を厳格に守ることを良しとする一派や、儀式を忠実に執り行うことを良しとする一派などが力を持っていた。出家前のブッダは前者に属し、それに異を称える人たちを王子として弾圧することに力をそそいでいた。

イ バラモン教の哲学的な考えを示すものに『ウパニシャッド』がある。それによると世界は、ヴィシュヌ神が創造しシヴァ神が破壊する、その繰り返しであると説かれている。すべては神々が決めるのであるから、人間の転生は生前の行為に関係ないとされる。この考えを輪廻転生説という。

ウ 『ウパニシャッド』の考えでは、梵（ブラーフマン）、つまり宇宙の本質と、我（アートマン）、つまり自己の本質は実は同一のものであり、このことを体得すれば輪廻の苦しみから抜け出すことができるとされる。それは苦行や学問を通じて体得することにより為しうるとされる。

- ① ア                      ② イ                      ③ ウ                      ④ ア イ
- ⑤ ア ウ                  ⑥ イ ウ                  ⑦ ア イ ウ              ⑧ 正しいものはない

問3 下線部(c)に関して、ブッダの教えとヴァルダマーナの教えについての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ブッダは、人生は苦に満ちており、その原因は自己やものごとへの執着によるものであるが、この執着を滅する道はないと述べている。これを諸行無常という。
- ② ヴァルダマーナは、バラモン教の神々を否定する、いわば無神論の立場をとっており、徹底した修行による輪廻からの解脱を説き、さらに禁欲と不殺生の実行を強調した。
- ③ ブッダは、人が苦しむのは多くの悩み、つまり煩惱を持つからであり、苦の原因を知り、それを除くように行動すれば煩惱は消え去るとする致良知を説いた。
- ④ ヴァルダマーナは、この世界は善神と悪神の絶え間ない闘争が行われており、われわれは、生前善神に味方することで、死後浄土に導かれると説いた。

問4 下線部(d)に関連して、涅槃寂静とはどういう状態のことをいうのか？その説明として、最も適当なものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 自分の感情や欲望を抑え、まず他者を尊重することを考え、社会規範にしたがって行動することで得られる安らかな境地。
- ② 自分を惑わせる怪異なもの、死や死後のこと、神がかったことなど、人智が及ばないことを考えることをやめ、現実生活を直視することで得られる安らかな境地。
- ③ 程よく適切な八つの修行法を実行することにより、さまざまな悩みがあたかも灯火が静かに消えるように滅する安らかな境地。
- ④ 素朴で、あまり欲望を持たない少数の人びとが住む国では、それぞれが満足するので他と争うことがなくなり、結果として人びとが抱きうる安らかな境地。

問5 下線部(e)に関連して、出家せず在俗のまま暮らす仏教徒のことを在家信者というが彼らが守らなければならない五戒として最も適当なものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① 嘘をついてはならない。
- ② 正しく瞑想し、精神を統一させなければならない。
- ③ 釈迦如来のほかに、なにものをも仏としてはならない。
- ④ 貧しい同胞を見捨てないためにも、惜しみなく財産の一部を差し出さねばならない。

問6 下線部(f)に関して、パキスタン・ペシャワール出身のこの兄弟や、南インド出身の思想家が、仏教の発展に寄与したと言われる。下の文は、彼らについて説明したものである。空欄に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

1～2世紀にかけて活動した竜樹は「空」の思想を確立した。それは、存在はすべて無常であり変化するのであるから、それ自体で存在するものはないとする考えである。つまり、すべてのものはそれ自体で存在する本性を持たないのである。このことを（ あ ）という。換言すれば、すべてのものは他のものと相関わり合って存在していると言える。これは仏教本来の（ い ）を深め発展させた考えである。

さらに、4世紀に活動した兄弟のうち弟の世親はその著書の中で、外界の事物はそれ自体で存在しているのではなく、心の表れにすぎないと述べている。これは（ う ）説と呼ばれ、竜樹の空とともに大乘仏教の基本思想とされる。



- |         |       |      |
|---------|-------|------|
| ① あ 自性  | い 縁起説 | う 中観 |
| ② あ 自性  | い 縁起説 | う 唯識 |
| ③ あ 自性  | い 四諦  | う 中観 |
| ④ あ 自性  | い 四諦  | う 唯識 |
| ⑤ あ 無自性 | い 縁起説 | う 中観 |
| ⑥ あ 無自性 | い 縁起説 | う 唯識 |
| ⑦ あ 無自性 | い 四諦  | う 中観 |
| ⑧ あ 無自性 | い 四諦  | う 唯識 |

問7 下線部(g)に関して、次の文は孔子とその後継者について述べられた文である。それぞれ誰に関するものか、組み合わせとして正しいものを、下の①～⑥から一つ選べ。

- a 彼は、人の性は本来善きものであり、それは生まれながらにして備わっているのであるから、善き心の端緒を見逃さずに育てていけば、人に仁・義・礼・智の四徳が実現され、それが心身に充ちれば「浩然の気」があらわれるとした。
- b 彼は、理気二元論の立場から人間を説明する。人間が天から受ける「本然の性」は理(性即理)であって完全なる善である。聖人の性は「本然の性」のままであるが、凡人の性は、気質の濁りによってその本然の性がおおわれており、不善をなすと考えた。
- c 彼は人間関係の基本を「人を愛すること」であるとした。まず自分を偽らない真心を持つことが大切であり、他者に対しては思いやりの心を持ち、自分が欲しないことは他人にもしないようにすることが大切である、とその実際的な行動指針を示した。

- |         |       |       |
|---------|-------|-------|
| ① a 孔子  | b 孟子  | c 朱子  |
| ② a 孔子  | b 王陽明 | c 孟子  |
| ③ a 孟子  | b 孔子  | c 王陽明 |
| ④ a 孟子  | b 朱子  | c 孔子  |
| ⑤ a 王陽明 | b 孔子  | c 孟子  |
| ⑥ a 朱子  | b 孟子  | c 孔子  |

問8 下線部(h)に関連して、韓非子をはじめとする諸子百家の説明として最も適当なものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 韓非子は、李斯とともに儒家の荀子の弟子であるが、人の本性を悪と見る点では同意しながらも、師の説く礼では国を統治するには不十分であると考え、厳格な法による信賞必罰の法治主義をとって、始皇帝により国の方策として採り入れられた。
- ② 墨子は、儒家の説く仁は広く万人を愛する博愛であり現実的ではないと批判し、まず身近な家族・主君・朋友から愛することを説いた。またそのことが自分のみならず、身近な人たちの利益につながるとし、これを兼愛交利と呼んだ。
- ③ 孫子は戦乱が続く春秋・戦国時代の中国にあって、大国秦と対抗するためには、他の六国が縦に同盟してあたるという合縦策を説き、一方、呉子は大国秦と六国のそれぞれが、横に和議を結ぶ連衡策を説いた。
- ④ 蘇秦と張儀は、陰陽五行説の思想家として知られている。彼らはこの世界のさまざまなありさまを、陰陽(月日)二気の変化と木・火・土・金・水の五つの元素の運行によって説明した。後年、この考えにより暦などが作成された。

問9 下線部(i)に関して、次の資料は『老子』からの引用である。君主たるものの在り方について述べられたこれらの文章から読み取れる内容として、最も適当なものを、下の①～④から一つ選べ。

民の上に立とうとするのなら、必ず言葉を謙虚にしてへりくだり、民の先頭に立とうとするならば、必ず自分のことは民の後にしなければならない。だから聖人が民の上にも民はそれを重荷とはしない。だから聖人が前にいても民は害だとは思わない。だから民は聖人に天下を任せよう推すことを喜び、厭わないのである。聖人は誰とも争わないのであるから、人びとは彼と争うことができないのである。(66章)

聖人は言う「国の汚れをこの身で受ける、それを国家の君主という。国の災いをこの身で受ける。これを天下の王という。」真実はこれに反しているようである。(78章)

人は生きてると柔らかく、死ねば堅く強ばっている。草や木などすべてのものは、生きてると柔らかく、死ねば枯れて堅くなっている。堅く強ばっているものは死の類であり、柔らかなものは生の類である。兵が強くて勝つことはなく、木は堅ければ折られる。強くて大きいものは下位になり、柔軟なものは上位になる。(76章)

- ① 民の先頭に立つものは謙虚であることは大切であるが、君主・王者としての誇りを失わず、決して民のしもべのように振る舞ってはならない。君主として民の重荷にならぬよう、また民が君主として自分を推薦できるよう、徳を身につけなければならない。
- ② 君主たるものは国家の間違いや災厄など、国家に降りかかった凶事を自分一人で引き受け、決して民にその責任をまわしてはならない。これこそ本当の名君・王者というべきである。が、しかし実際はこれとは違っているようである。
- ③ 聖人は誰とも争わないので、民も聖人と争うことができないように、水も姿を柔軟に変え、どのような器にもびたつと収まる。君主たるものの上策は、何ごとも水のように柔軟に対処することである。
- ④ 人は生きてるときは柔らかくみずみずしく、草木が生きている時は柔らかく、枯れたら固くなる。兵は訓練しなければ強くなることはなく、木は堅いからこそ折られなくてすむ。したがって君主は、生の柔らかさと死後の固さの双方を備えるべきである。

問10 下線部(j)に関連して、司馬遷の『史記』の時代から、老子ではないかと推定される人物は3人ほどおり、未だ老子の存在すら明らかではない。しかし老子の正統な後継者が莊子であることは大方の一致するところである。次の文章は『莊子』からの引用である。これに関連する語句として、最も適当なものを、下の①～④から一つ選べ。

毛嬙もうしょうや麗姫りきは人びとが絶世の美女だという人たちである。しかし魚は彼女たちを見て恐れて隠れ、鳥は彼女たちを見て驚いて飛び去り、鹿たちはさっと走って逃げる。これら四者のうち、どれが本当の美を知っているのか？ 私からみると、仁義の端や、是非の道も、混乱しているだけである。私がこれを区別することなどとても出来ない。

- ① 無為自然      ② 心齋坐忘      ③ 万物斉同      ④ 逍遙遊

3 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

近年、「ワーク・ライフ・バランス」や「働き方改革」が唱えられ、私たちの労働のあり方が問い直されている。サービス残業や過労死、仕事と育児の両立の困難さなどが取り沙汰されているが、背景には「働き過ぎ」の問題がある。私たちはなぜ働き過ぎなのか。私たちにとって仕事とはどういう意味を持つものなのか。それらのことについて、労働にまつわる言葉の成り立ちや思想史から探ってみよう。

まず、そもそも「仕事（しごと）」という言葉にはどのような意味が込められているのか、(a) 古代日本の思想を踏まえて確認したい。古代日本では、自然の成り行きを表す「おのずから」と、人間の作為を表す「みずから」は、後に同じ「自」という漢字があてられたように、一体のものであった。自然に「なる」ことと、人間が「うむ」ことの調和が重視されていたのである。仕事は、動詞「する」の連用形「し」に体言の「こと」が接続してできた言葉であり、自然の(b) 「もの」に働きかけて何かを「する」ことで、「こと」を生み出し、人々の暮らしを豊かにすることを意味した。

日本において労働は主に農民によって担われてきたが、農業という「仕事」は自然と調和しながら進めていかなければ何も生み出せない。日本人の間で広く共有されてきたこのような労働観を天道と人道という概念で表現したのが、(c) 二宮尊徳であった。農業は、おのずからとみずからのあわい、すなわち天道と人道の共働によって初めて成り立つというわけである。

このような労働観は、農民だけでなく、職人にも共有されてきた。柳宗悦は、著書『雑器の美』の中で、庶民の暮らしに密着した工芸品を生み出してきた職人たちの営みは、(d) ただひたすらに無心の境地で、みずからの手の動きに身を委ねることで、作品がおのずから姿を現すのを待つというものだったと指摘している。

一方、農民や職人のように直接何かを生み出すことのない商人は、蔑みの対象になることがあったが、彼らの職業に意義を見出したのが(e) 石田梅岩であった。彼は、「商人の買利は(f) 土の禄に同じ」と述べるとともに、「実の商人は先も立ち、我も立つことを思うなり」と述べて、商業が職分として正当なものであり、自利利他などの仏教思想の実践にもつながることを指摘したのである。その例で言えば、商業が急速な発展を遂げた江戸時代の大坂（大坂）は、もともと石山本願寺の門前町であり、(g) 浄土真宗の門徒でもあった商人たちによって、「天下の台所」と呼ばれるまでになっていった。

しかし、大いなる自然や宗教と関係していた私たちの労働観は、(h) 明治維新以降の近代化の過程で一変した。富国強兵を唱え、近代化を急ぐ日本において、労働は専ら生産力の向上を目指すものとなり、分業と協業による生産の効率化が図られた。労働者は規律を守って勤勉に働くことが求められ、その対価として賃金を得るようになった。この新たな労働観への戸惑いは、(i) 外来語の labour の訳語がなかなか定着しなかったことにも表れている。当初、「力作」や「労力」などと訳されたが安定せず、結局新たな国字として「働」が作られ、「労働」として定着した。「働」には「動」のようにただ体を動かすだけでなく、人間が精を出して勤めるという意味が加えられている。近代化以降、勤勉は美德であるとう考え方が一般化し、生産や報酬のために長時間労働もいとわない風潮が広がっていったが、それは現在の「働き過ぎ」の問題にもつながっている。しかし、そのような近代的な労働観からは、大いなる自然や宗教との関わりが抜け落ち、労働（生産と報酬）それ自体が目的になっていることが見て取れる。

私たちが現在の働き方を見直すとき、労働時間の短縮や生産性の向上の問題に終始して本質を見失わないためにも、労働の本来の在り方を、歴史的に振り返って問い直す必要があるといえるだろう。

問1 下線部(a)について、風土と文化の関係性を見出し、日本人の特性として受容的で忍従的な国民性が形成されたことを指摘した人物は誰か、次の①～④から一つ選べ。

- ①柳田国男                      ②和辻哲郎                      ③折口信夫                      ④南方熊楠

問2 下線部(b)について、「もののあはれ」を知る人を日本人の理想とした人物に本居宣長がいる。本居宣長に関する説明として最も適当なものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 儒教や仏教を批判し、天照大神の子孫である天皇が直接統治した古代の霊的な世界に戻ることを唱え、尊皇攘夷運動の精神的支柱となった。  
② 古代の和歌集を研究し、素朴で力強く、ありのままを重んじる心を持った古代人に、失われた理想の人間の姿を見ようとした。  
③ 神道が主で仏教が従であるとして、反本地垂迹説の立場を取り、天皇崇拝に基づく大義名分と封建道徳を説いた。  
④ 外来思想に感化される前の日本人本来の感性を重視し、人間の自然な感情を肯定するとともに、真心を取り戻すことを主張した。

問3 下線部(c)について、二宮尊徳とともに、農業の意義を問い直した人物に安藤昌益がいる。2人の思想に関する説明として最も適当なものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 二宮尊徳は、封建社会は、自ら耕作しない者たちが私利私欲のために作り上げた社会制度によって、農民を支配している不当な社会であると説いた。  
② 二宮尊徳は、相互に補い合い、活発に活動している自然の世界の中で、すべての人が農業に取り組み、自給自足の生活を営む社会を理想とした。  
③ 安藤昌益は、儒教、仏教、神道などの伝統的な教学をすべて否定し、法や道徳を説く聖人こそ悪の根源であり、仁政も慈善も支配の道具に過ぎないと説いた。  
④ 安藤昌益は、農業は万業の大本であると説いて、自然の働きと調和しながら、合理的な生活態度で農業に励むことが大切であると説いた。

問4 下線部(d)について、このことから、柳宗悦がある仏教思想の影響を受けていることが分かるが、彼による以下の文章を読み、空欄(あ)～(う)に当てはまる語の組み合わせとして正しいものを下の①～⑥から一つ選べ。

(あ)という言葉は、仮に設けた言葉に過ぎない。…(い)禅師は、日本(う)の祖といわれるが、(う)という言葉はおろか、禅宗という言葉すらも好まれなかった。一宗一派ともなれば、かえって禅を見失う危険が起ろう。…ここが素晴らしい見方で、同じく(あ)を見つめて、「(あ)なし」とまでいい切る程にならねばならぬ。(あ)という考えの奴隷となつては、(あ)を見失う事となろう。…(あ)を見る眼も、その「さわりなき心」の眼でなければならぬ。…「只見た」事が、吾々に幸いしたのである。これによって驚くべき光景が吾々の前に展開された。「(あ)」という言葉の内容が、一つの型に固まってきては、もはや生命がなくなる。(あ)品の美しさは、「平の心」の現れなのである。『柳宗悦全集 第十巻』(筑摩書房、1984年)

- ① あ 芸術            い 法然            う 臨濟宗
- ② あ 民芸            い 道元            う 臨濟宗
- ③ あ 民芸            い 法然            う 曹洞宗
- ④ あ 芸術            い 道元            う 臨濟宗
- ⑤ あ 芸術            い 法然            う 曹洞宗
- ⑥ あ 民芸            い 道元            う 曹洞宗

問5 下線部(e)について、石田梅岩の著書を次の①～④から一つ選べ。

- ① 都鄙問答            ② 世間胸算用            ③ 翁の文            ④ 夢の代

問6 下線部(f)について、武士の生き方や武士道に関する次の記述のうち、誤っているものを次の①～④から一つ選べ。

- ① 林羅山は、天地に上下があるように人間にも上下の秩序があり、武士はその秩序の頂点に立つ存在として、人格を高貴に保つべきだとした。
- ② 山本常朝は、著書『葉隠』において、「武士道といふは死ぬ事と見付けたり」と述べるとともに、主君への献身を恋に例えて説明した。
- ③ 山鹿素行は、武士は農民、職人、商人を導く立場にふさわしい者として、倫理的自覚を持ち、人格の修養に努めるべきだと説いた。
- ④ 新渡戸稲造は、武士道を神が日本人に与えた最大の贈り物であるとして、武士道の精神の上にキリスト教の信仰を接ぎ木していくことを唱えた。

問7 下線部(g)について、浄土真宗の開祖親鸞の教えを弟子の唯円がまとめた著書『歎異抄』の一節を読み、空欄(あ)～(お)に当てはまる組み合わせとして正しいものを下の①～⑥から一つ選べ。

(あ) なおもて往生をとぐ、いはんや(い)をや。しかるを世の人つねにいはいはく、(い)なお往生す、いかにいはんや(あ)をやと。この条、一旦そのいはれあるに似たれども、本願(う)の意趣に背けり。そのゆへは、(え)作善の人は、ひとえに(う)をたのむ心欠けたる間、(お)の本願にあらず。しかれども、(え)の心をひるがえして、(う)をたのみたてまつれば、真実報土の往生をとぐるなり。

- ① あ 悪人            い 善人            う 他力            え 自力            お 菩薩
- ② あ 善人            い 悪人            う 他力            え 自力            お 弥陀
- ③ あ 善人            い 悪人            う 自力            え 他力            お 菩薩
- ④ あ 悪人            い 善人            う 自力            え 他力            お 権現
- ⑤ あ 善人            い 悪人            う 自力            え 他力            お 権現
- ⑥ あ 悪人            い 善人            う 他力            え 自力            お 弥陀

問8 下線部(h)について、近代化の過程で、新たにもたらされた西洋思想と向き合った人物たちの説明として最も適当なものを、次の①～④から一つ選べ。

- ① 夏目漱石は、自我が確立しないまま運命に翻弄される青年の姿を小説に描きながら、まだ近代化の過程にある日本における自我と社会の矛盾は、諦念によって乗り越えるしかないという達観に至った。
- ② 森鷗外は、日本の近代化は外発的開化で主体性がないと問題視し、近代的自我に目覚めた青年がエゴイズムに陥って葛藤する有様を小説に描きながら、「皮相上滑り」である近代化の実態を批判した。
- ③ 平塚らいてうは、近代化を機に女性も個人として目覚めるべきだと考え、雑誌『青鞜』を創刊し、「元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。」と宣言して、女性の解放と自立を訴えた。
- ④ 西田幾多郎は、西洋思想に対抗しうる日本独自の思想として禅に注目し、自らも参禅して思索を深めながら、欧米の諸大学で講義したり、英文で著書『日本的靈性』を出版したりして、日本文化と禅思想を海外に紹介した。

問9 下線部(i)について、明治維新以降、西洋思想を紹介し、外来語の翻訳にも取り組んだ日本最初の学術団体が明六社であるが、以下のうち、明六社に参加していた人物は誰か。次の①～④から一つ選べ。

- ① 福沢諭吉            ② 徳富蘇峰            ③ 植木枝盛            ④ 中江兆民

問10 以下の文章は、近代化前後の日本人の労働観の変化について図書館で調べてくる宿題を出された生徒たちが、次の授業で発表した内容である。趣旨にふさわしくない発表内容を、次の①～④から一つ選べ。

- ① 生徒Aは、近代化によって労働が時間で管理されるようになったことに注目し、関連する文献を調べたところ、遅刻や残業という概念が明治以降に初めて誕生したものであることを知り、発表した。
- ② 生徒Bは、当時の資料から明治初期の横須賀製鉄所が職人の確保に苦勞していたことを知り、さらに詳しく調べ、当時の職人たちにとって週4日勤務は長時間労働であり、職場放棄をする人たちが続出していたことを発表した。
- ③ 生徒Cは、明治初期に日本に来ていた外国人が書いた文献をあたり、外国人から見ると当時の日本の労働者たちは、「怠惰で無頓着」であり、「動作がのろくだらだらしている」ように見えていたことを発表した。
- ④ 生徒Dは、明治維新以来、急速な工業化の影で労働者の生活はほとんど省みられていなかったことを知り、日本で最初の労働組合の結成について調べ、結成後、弾圧によって解散した経緯を発表した。

4 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

現代社会は様々な解決すべき問題を多く抱えている。ここにおいて、私たちが、例えば(a)モラリストの思想や(b)ドイツ観念論などの過去の諸思想を学ぶことには、いったいどのような意義があるのだろうか。このような問いに対して、(c)科学技術系の学問を進展させることによって社会問題は解決されるのであり、思想系の学問は役に立たないとする考えもあるが、果たして本当にそうなのだろうか。

現代の私たちの考え方の中には、西洋近代初頭の(d)ルネサンス期に生まれた諸思想の流れを汲むものが数多く含まれており、現代の学問の方法や態度もまた同様である。例えば、科学的学問の中心方法である、(e)実際の観察や実験によって獲得された事実を総括し、それを通じて多くの事例を貫く一般的な原理や法則を見出していくという手法がある。これは、西洋近代における人間と自然や世界との関係についての新たな思想に基づいて成立したものである。

(f)西洋近代以降の思想は、私たちが日常生活を営む場である自然や(g)社会といったものと深い結びつきを持っている。例えば、18世紀から19世紀にかけてのイギリスの発展と功利主義思想とは深い結びつきを持っており、新大陸アメリカの開拓と(あ)の思想も同様である。また、20世紀の中心的思想の一つである(h)実存主義の思想は、近代的システムが世界に普及する中で生まれた人間の不安や疎外を背景にして展開されてきた。さらに現代においては、西洋中心主義や理性への過度の信頼が世界大戦の悲惨や自然破壊などをもたらしたとの反省から、(i)フランクフルト学派や構造主義の思想家たちが新たな考え方を提示している。また、「生命への畏敬」を説いた(い)らのヒューマン主義の思想は、現代の世界の在り方が持つ矛盾や諸問題に対して問いを發し続けていると言える。

社会の在り方や諸問題と人間の思想や諸観念とは深く結びついている。それゆえ、これからも我々は(j)自然や人間、共同体に関する先哲の思索について学ぶ必要があるだろう。そして、そうすることによって、その中から現代社会における様々な問題の解決策が得られるのではないだろうか。

問1 下線部(a)に関して、モラリストの一人であるパスカルの思想内容として最も適当なものを、次の①～④より一つ選べ。

- ① パスカルは繊細な精神と幾何学的精神を対置し、推論や論証の能力である後者に基づいてこそ、正しい道徳的判断が可能になる、と説いた。
- ② パスカルは、人間を偉大さと悲惨さという両極端の中間に揺れ動く存在とみなし、権力への意志によってこの悲惨さを克服すべきだ、と説いた。
- ③ パスカルは、水圧機の原理を発見したことに見られるように、自然科学的な探求を重視し、信仰も科学によって基礎づけられることができる、と説いた。
- ④ パスカルは、人間は身体・精神・愛という三つの秩序を生きており、有限な人間の真の生き方は、全てを超えた神の愛を信じることにあり、と説いた。

問2 下線部(b)に関し、ドイツ観念論の思想家についての記述として、最も適当なものを、次の①～④より一つ選べ。

- ① カントは、世界の本質を構造に置き、観念や理想よりも人間の社会構造に価値をおくことが特徴的で、特に彼はこの立場にたっている。
- ② フィヒテは、スピノザの汎神論の影響を受けて、主観と客観、精神と自然が同一であり、すべての事象が絶対者のあらわれであると考えた。
- ③ シェリングは、人間の最大の徳を道徳的努力に認め、ナポレオン軍隊が占領している状況で、『ドイツ国民に告ぐ』を発表した。
- ④ ヘーゲルは、世界の歴史は、その背後にある理性的な絶対精神が、その本質である自由を実現していく過程であると考えた。

問3 下線部(c)に関して、西洋近代の自然科学研究の領域では、様々な発見が見られた。それらに関係した人物の記述として、**適当でないもの**を、次の①～④より一つ選べ。

- ① ガリレイは、望遠鏡による天体観測を行うと共に、振り子の実験などに基づいて物体運動の理論を展開して近代科学の基礎を築いたが、著書『天文対話』の出版から宗教裁判にかけられ、有罪の判決を受けた。
- ② コペルニクスはポーランドの天文学者で、『天体の回転について』を著して、古代ローマ以来のプトレマイオスの宇宙観とは異なり、太陽が太陽系の中心に位置し、地球や他の惑星は太陽の周りを回っているとする天文学説を唱えた。
- ③ ニュートンは『プリンキピア』を著し、物質と精神の二元論的立場に立って、外界の事物を数量化可能なものと考え、微分積分法や「万有引力の法則」を発見して定式化し、物理学の体系を示して目的論的自然観を唱えた。
- ④ ドイツの天文学者ケプラーは、惑星は太陽を一つの焦点とする楕円軌道を公転するという法則や、惑星は太陽と惑星を結ぶ線分が単位時間に一定面積を描くように運動するという法則など、惑星軌道に関する三法則を発見した。

問4 下線部(d)のルネサンスに関し、この時代の人物と彼らの代表的著書や作品とを、二つずつア～ウに組み合わせた。ア～ウの中で**誤りがあるものの組み合わせ**として正しいものを、下の①～⑦より一つ選べ。

ア	マキャベッリ『君主論』	&	ラッファエッロー「聖母子像」
イ	ダンテ『神曲』	&	ミケランジェロー「ダヴィデ像」
ウ	ボッカッチョ『デカメロン』	&	レオナルド＝ダ＝ヴィンチ「最後の審判」

- ① ア                      ② イ                      ③ ウ                      ④ アとイ
- ⑤ アとウ                ⑥ イとウ                ⑦ アとイとウ

問5 下線部(e)の「手法」に関連する以下のア～ウの問いについて、その解答の組合せとして正しいものを、下の①～⑧より一つ選べ。

ア このような「手法」を何というか。  
イ 上記Aの「手法」を採用した思想は何か。  
ウ 上記Bに該当する思想家は誰か。



- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| ① ア 演繹法 | イ 大陸合理論   | ウ スピノザ |
| ② ア 帰納法 | イ 大陸合理論   | ウ スピノザ |
| ③ ア 演繹法 | イ 大陸合理論   | ウ ヒューム |
| ④ ア 帰納法 | イ 大陸合理論   | ウ ヒューム |
| ⑤ ア 演繹法 | イ イギリス経験論 | ウ スピノザ |
| ⑥ ア 帰納法 | イ イギリス経験論 | ウ スピノザ |
| ⑦ ア 演繹法 | イ イギリス経験論 | ウ ヒューム |
| ⑧ ア 帰納法 | イ イギリス経験論 | ウ ヒューム |

問6 下線部(f)に関し、以下の3人の西洋近代以降の思想家について、その思想が展開した時代を古い順に並べたものとして、最も適当なものを、次の①～⑥より一つ選べ。

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ① コント   | → ウェーバー | → カルヴァン |
| ② コント   | → カルヴァン | → ウェーバー |
| ③ ウェーバー | → カルヴァン | → コント   |
| ④ ウェーバー | → コント   | → カルヴァン |
| ⑤ カルヴァン | → コント   | → ウェーバー |
| ⑥ カルヴァン | → ウェーバー | → コント   |

問7 下線部(g)に関して、マルクスの考え方として最も適当なものを、次の①～④より一つ選べ。

- ① 数多くの矛盾が存在する資本主義社会において、商業は文明の弱点であり、商業資本家の悪徳と無政府性は強く非難されなければならない。
- ② 労働者の生産物が、資本家の支配下にあるという資本主義の問題を克服するためには、革命による社会主義社会への移行が実現されなくてはならない。
- ③ 帝国主義の時代においては、議会制度を通じて社会を変革することは困難であり、社会主義社会は武力闘争によって実現されなければならない。
- ④ 議会制度を通じて、生産手段の公有化、富の公平な分配、社会保障制度の拡充を推進し、資本主義社会の弊害を除かねばならない。

問8 文章中の空欄部(あ)と空欄部(い)とに該当する語句や人名の組合せとして正しいものを、次の①～⑥より一つ選べ。

- |              |            |
|--------------|------------|
| ① あ フェミニズム   | い ガンディー    |
| ② あ フェミニズム   | い シュヴァイツァー |
| ③ あ フェミニズム   | い ベルクソン    |
| ④ あ プラグマティズム | い ガンディー    |
| ⑤ あ プラグマティズム | い シュヴァイツァー |
| ⑥ あ プラグマティズム | い ベルクソン    |

問9 下線部(h)に関して、実存主義の思想家に関する説明として最も適当なものを、次の①～④より一つ選べ。

- ① キルケゴールは、美的実存や宗教的実存の段階を経て倫理実存へと至り、そこで良心的かつ本来的な自己である単独者に目覚めると考えた。
- ② ニーチェは、近代ヨーロッパに広まっている受動的ニヒリズムは、キリスト教会の権威に対する怨恨(ルサンチマン)に由来するとした。
- ③ サルトルは、人類や社会への責任から解放されて、一個の実存として誠実にふるまい、自己を確立させるアンガジュマンこそが人間としての自由であると主張した。
- ④ ヤスパースは、その有神論的実存主義において、実存を自覚した者は、互いを高めあう実存的交わりから「愛しながらのたたかい」で実存を深めあうとした。

問10 下線部(i)に関して、フランクフルト学派第二世代の社会学者であるハーバマスの見解として最も適当なものを、次の①～④より一つ選べ。

- ① 人間集団の目標は、道具的理性ではなく、対話的理性を基に、開かれたかたちで相互の批判をおこない、互いの理解を深め「合意」を形成することだとした。
- ② 各人の多様な個性の発展は、社会が進歩していくために不可欠なものであるとして、個人の自由に対する社会的制約は、他者に危害がおよぶ場合に限られるとした。
- ③ 人間がつくりあげた合理的な社会は人間の制御を超えて巨大化し、逆に人間を支配して管理する状況をもたらし、理性は自然と人間とを規格化する道具的理性と化してしまつたと述べた。
- ④ 社会は、適者生存のメカニズムと自由競争の原理によって、社会的な分業が達成されて社会進化を促進し、それは資本主義社会の原則とも一致すると述べた。

5 次の高校生の会話文を読み、下の問いに答えよ。

葵：来月から、倫理の授業で「テーマ学習」をするのよね。現代の諸課題からテーマを選んで、自分なりに解決方法を考えておくようになって言われたけど、何か考えた？

悠：思いついたことはあるけど、あまり現実的じゃないんだ。

葵：いいじゃない！理想が現実を変えるんだもの。それで、どんなことを思いついたの？

悠：『AIの可能性に挑む』というテーマ。

葵：人工知能ね！最近、ディープラーニングというアプローチですごく進化しているらしいけれど・・・AIのどんな可能性に挑むの？

悠：いろいろあるよ。たとえば、格差問題や日本の(a)人口問題を解決するという可能性。

葵：へえ、興味深いわ。AIで、どうやって格差問題を解決するんだろう。

悠：妄想のレベルだけど、一応説明するね。社会主義は失敗したけれど、あれは計画の立て方もまずかったと思うんだ。いくらエリートでも、山ほどある商品の需要と供給の関係や流行まで予測できっこないでしょ。そこで、ビッグデータを駆使し、比較生産費説も考慮に入れてAIで世界中の経済を予測し、立案する。公正な再分配ができるよう税率もAIで計算する。それらを参考に人が計画を立て、実行する。格差がゼロだと人はやる気をなくするので、最低限の格差は残しつつ、(b)豊かで公正な社会をめざす。公正な社会になれば、格差や現状への不満から戦争やテロを行う人も減り、(c)世界は平和になる。どう？

葵：とても素敵なアイデアだと思う。じゃあ、日本の人口減少はどうやって解決するの。

悠：好みのタイプや年齢、職業、宗教、(d)パーソナリティなどの情報から、AIで相性をマッチングして紹介する。日本好きの外国人も対象にする。すると、結婚するカップルが増え、出生率が向上し、国際結婚も増えて(e)異文化理解が進む。・・・ね、妄想のレベルでしょ。

葵：そんなことないわ。以前、科学雑誌で読んだのだけど、ディープラーニングは、複雑なニューラルネットワークを使って抽象的な概念を学習する能力をもっているんだって。つまり(f)成長するのね。だから今はできなくても、その気になればいつかできるかもしれない。

悠：「その気になれば」というのは、AIじゃなくて人間が、その気になるってことだよな？

葵：ん？そうか、逆にAIがその気になる可能性もあるのかな。つまりAIが自発的に、「こんなふうにもできますが、いかがですか？」と提案する近未来・・・！

悠：提案するAIねえ。こっちが言わなくても提案するって、ある意味「付度そんたく」だよな。

葵：「付度するAI」？ちょっとビミョーだけど、どんな提案をするんだろう。

悠：そうだなあ。たとえば、こんなのどう？「モット(g)再生可能エネルギー活用シテハドウスカ。日本ハ、地熱ノ存在量ガ世界3位ナノデ、地熱発電ガ適シテイマス。地熱発電ト太陽光発電ヲ併用スレバ、コノ地域デハ電力需要ヲ95%マカナエマス」。

葵：なに、そのロボット口調(笑)。(h)スマホの音声アシスト機能は、もっと自然に話すよ。

悠：わかった！じゃ、次の提案いくよ。場面は医療現場です。「あの方はとてもデリケートな方ですから、一方的なガン告知は控えた方がよいでしょう。告知すると気に病んで、病状が悪化する可能性は推定80%以上です。ご家族とまず相談してはいかがですか？」

葵：(i) SOL と QOL を考慮に入れて、個別対応の提案をするなんてすごいわ。でもそれ、逆に迷うなあ。あらそういえば、AIは選択肢を提案するのであって、決定するのは人なのね。

悠：決定までAIに任せると、誰が責任を取るのかという問題が出てくるでしょ。

葵：責任の問題か。AIが言ったからやりました、では無責任な社会になってしまうものね。

悠：あっ、問題といえばもう一つある。何かわかる？付度するってことは、あらかじめ……。

葵：そうか、人の様々な行動の情報をあらかじめAIがもっていることが前提になる。

悠：AIの付度＝監視されたうえで善意によるお節介をやかれる、ということにもなりうる。

葵：外国に、こういう格言があるそうよ。「地獄への道は、善意で舗装されている」。

悠：うむむ。善意であれば許されるどころか、かえってタチが悪いという皮肉！？

葵：善意の方向にしろ悪意の方向にしろ、AIが暴走すると恐ろしいことになりそうね。

悠：AIの暴走か。科学技術に頼りすぎるのも、よくないよなあ。

葵：うーん、人を救うのは結局、技術よりも人…なのかもしれない。よし、私は「身近な人と人との助け合い」という共助の観点から、倫理の課題を考えてみることに決めたいわ。

悠：ぼくは、AIが暴走した場合にどう歯止めをかけるのかについて、考えてみるよ。

問1 下線部(a)に関連して、人口や家族について述べた内容として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 発展途上国の人口動態は、医療技術の進歩や公衆衛生の改善などにより、死亡率が低下して20世紀後半に少産少死型へと転換したため、世界の人口は減少し始めている。
- ② 日本では、先進国の中で最も急速に少子高齢化が進んだため、政府が安心して出産・子育てができる環境整備に取り組み、2015年には合計特殊出生率が2.08人を上回った。
- ③ カイロ会議とも呼ばれる国連人口・開発会議では、高齢者が自分の身体や健康のことを自己決定するリプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念が提唱された。
- ④ 日本では2017年に男女雇用機会均等法が改正され、事業主に対し、妊娠・出産等を理由とした、上司や同僚からの嫌がらせを防止するための措置を講じることが義務化された。

問2 下線部(b)に関連して、次のア～ウは公正や福祉などをめぐる様々な考察や理論についての説明であるが、それぞれ誰のものか。その組み合わせとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- ア 功利主義は、利益の最大化をはかるが結果として生じる不平等への配慮を欠くと批判し、社会契約説を再構成して、公正としての正義の原理を唱えた。
- イ 人間は、家族や地域社会などさまざまなコミュニティの伝統や文化や歴史を背負った負荷ある自己であるとし、コミュニティの成員に共有される共通善を重視した。
- ウ 世界の貧困や富の分配の不平等の問題に取り組み、福祉とは、人々が選ぶことのできる生き方の幅である潜在能力を開発することであると主張した。

- |   |   |      |   |      |   |      |
|---|---|------|---|------|---|------|
| ① | ア | ロールズ | イ | セン   | ウ | サンデル |
| ② | ア | ロールズ | イ | サンデル | ウ | セン   |
| ③ | ア | セン   | イ | ロールズ | ウ | サンデル |
| ④ | ア | セン   | イ | サンデル | ウ | ロールズ |
| ⑤ | ア | サンデル | イ | ロールズ | ウ | セン   |
| ⑥ | ア | サンデル | イ | セン   | ウ | ロールズ |

問3 下線部(c)に関連して、次の資料は、世界平和の維持を目的として設立された国際連盟から「いちばん意見を交換したい相手と書簡を交わしてください」と依頼されたアインシュタインが、フロイトに送った手紙の内容の一部である。この文章から読み取れる内容として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

戦争が起きれば一般の国民は苦しむだけなのに、なぜ彼らは少数の人間の欲望に手を貸すような真似をするのか？……即座に思い浮かぶ答えはこうでしょう。少数の権力者たちが学校やマスコミ、そして宗教的な組織すら手中に収め、その力を駆使することで大多数の国民の心を思うがままに操っている！……国民の多くが学校やマスコミの手で煽り立てられ、自分の身を犠牲にしていく——このようなことがどうして起こり得るのだろうか？

答えは一つしか考えられません。人間には本能的な欲求が潜んでいる。憎悪に駆られ、相手を絶滅させようとする欲求が！……

ここで最後の問いが投げかけられることになります。人間の心を特定の方向に導き、憎悪と破壊という心の病に冒されないようにすることはできるのか？

……私は何も、いわゆる「教養のない人」の心を導けばそれでよいと主張しているわけではありません。私の経験に照らしてみると、「教養のない人」よりも「知識人」と言われる人たちのほうが、暗示にかかりやすいと言えます。「知識人」こそ、大衆操作による暗示にかかり、致命的な行動に走りやすいのです。なぜでしょうか？ 彼らは現実を、生の現実を、自分の目と耳で捉えないからです。紙の上の文字、それを頼りに複雑に練り上げられた現実を安直に捉えようとするのです。

『人はなぜ戦争をするのか』

- ① 戦争は、文字にされた情報を頼りにする一般の国民が、マスコミに煽り立てられて引き起こされるのだと考え、生の現実から学ぶ方法をフロイトに尋ねようとしている。
- ② 少数の権力者たちが、国を戦争に導こうとして「教養のない人」たちを利用するのだと考え、彼らが大衆操作による暗示にかからないよう学校で教育すべきだと訴えている。
- ③ 人間の心には、憎悪や破壊への本能的欲求が潜んでいるのだと考え、人間の心を導くことによりそれを抑えることができるのかどうか、フロイトに尋ねようとしている。
- ④ 複雑な現実を客観的に捉える「知識人」は、戦争が起きれば国民の多くが苦しむと考えるため、自分の身を犠牲にしてでも戦おうとする傾向があると警告している。

問4 下線部(d)に関連して、パーソナリティについての次の文章中の空欄に入る語の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

パーソナリティは、能力や気質、性格の要素からなるその人らしさのことで、ラテン語のペルソナ（劇で使用する仮面）に由来することから、特に外向的・表面的なあり方を指すこともある。パーソナリティの形成には、（あ）のどちらかではなく、それらが相互にはたらくと考えられている。パーソナリティを理解する理論としては、類型論と特性論の考え方があり、類型論は性格をいくつかの典型的な例にあてはめて分類し、人間の全体像を概括的に理解しようとする考え方である。代表例として、（い）による体型別類型、ユングの内向・外向にもとづく8パターンの性格類型などがある。特性論は、性格をいくつかの特性の組み合わせとしてとらえ分析的に記述する考え方で、代表例として、ビッグファイブ理論がある。

- ① あ 意識と無意識                    い クレッチマー
- ② あ 意識と無意識                    い シュプランガー
- ③ あ 遺伝と環境                      い クレッチマー
- ④ あ 遺伝と環境                      い シュプランガー

問5 下線部(e)に関連して、1980年以降外国人労働者が増加し、学校に入学してくる外国人児童・生徒も増えている。これらの児童・生徒への対応として望ましいと考えられる方針として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 公立小学校への入学を希望する外国人児童が日本語をよく理解できず、学校での勉強に支障が予想される場合、校長は負担軽減のため、当該児童の入学を拒むべきである。
- ② 日本と外国の文化の違いを学ぶため、学校で外国人児童・生徒から母国の習慣について話してもらい、互いの民族のアイデンティティを尊重できる環境を整えるべきである。
- ③ 自治体は、様々な言語に対応できる環境づくりを進め、日本の文化にまだ慣れていない外国人児童・生徒や保護者と対話を重ね、必要な情報を提供していくべきである。
- ④ 外国人児童・生徒を迎え入れる際、担任は受容的な学級の雰囲気作りなどに努めるとともに、管理職や日本語指導担当教員などとも広く連携するべきである。

問6 下線部(f)に関連して、次のア～ウは人間の成長過程についての記述である。その正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

ア ピアジェは、子どもは成長するにつれて自分中心の見方から離れ、物事を客観的で多面的な観点からみることができるようになると説いた。  
 イ ルソーは、第二の誕生としての青年期は社会的な義務や責任が猶予されている期間なので、その時期に自分らしさを模索することが大切であると説いた。  
 ウ オルポートは、青年は大人の集団にも子どもの集団にも属すことのできない、不明確な位置にある存在であると説いた。

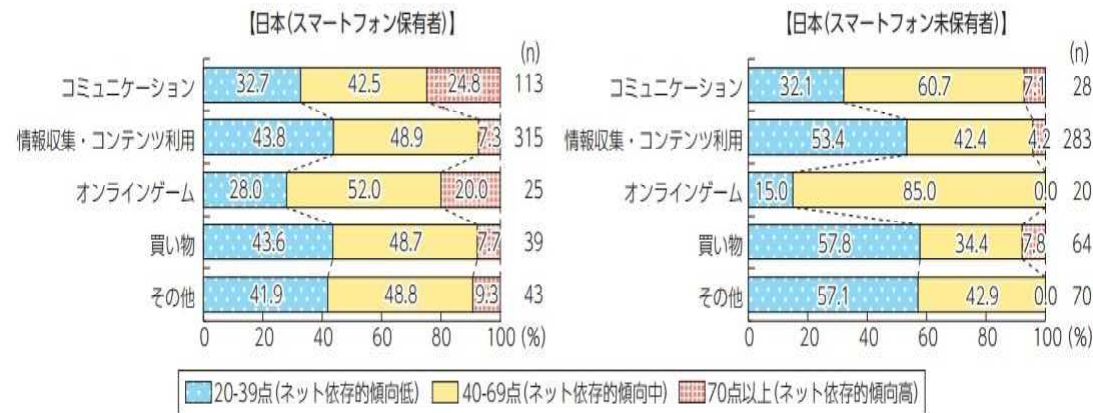
- ① ア 正    イ 正    ウ 正                    ② ア 正    イ 正    ウ 誤
- ③ ア 正    イ 誤    ウ 正                    ④ ア 誤    イ 正    ウ 正
- ⑤ ア 正    イ 誤    ウ 誤                    ⑥ ア 誤    イ 正    ウ 誤
- ⑦ ア 誤    イ 誤    ウ 正                    ⑧ ア 誤    イ 誤    ウ 誤

問7 下線部(g)に関して、自然界に常に存在し、枯渇せず、発電時に二酸化炭素を排出しないエネルギーである「再生可能エネルギー」に**該当しないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 水力発電                    ② 風力発電                    ③ 原子力発電                    ④ バイオマス発電

問 8 下線部 (h) に関連して、次の図はスマートフォン保有別のインターネットを利用する最大の目的とネット依存の傾向についての調査結果である。この調査結果 (注の内容も含む) から読み取ることができる内容として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

図 インターネット利用の最大目的とネット依存傾向 (スマートフォン保有別)



注 1) この調査は、「ネット依存」などの課題について、「Young20」と呼ばれる判定方法を用いてウェブアンケートにより実施されたものである。「Young20」とは、決められた 20 問のインターネット利用状況に関する設問に対し、5段階 (まったくない: 1点、まれにある: 2点、ときどきある: 3点、よくある: 4点、いつもある: 5点) で回答し、合計 100 ~ 20 点で「70 点以上 (ネット依存的傾向高)」「40-69 点 (ネット依存的傾向中)」「20-39 点 (ネット依存的傾向低)」の 3 段階に分類する手法。

注 2) 図は、インターネットを利用する最大の目的 (SNS 等に代表される「コミュニケーション」、動画視聴やニュース閲覧などの「情報収集・コンテンツ利用」、インターネットを介した「オンラインゲーム」、ネット通販やネットオークションに代表される「買い物」など) について聞いた上で、さらにスマートフォンの保有・未保有に分けて分析を行ったもの。なお、図中の (n) は、回答者の数を表している。

(出典) 総務省「ICTの進化がもたらす社会へのインパクトに関する調査研究」(平成 26 年)

- ① インターネットを利用する最大の目的について、スマートフォン保有者、未保有者ともに「情報収集・コンテンツ利用」と回答した人の数が最も多く、保有者も未保有者も 2 番目に回答者数が多いのは、「コミュニケーション」の項目である。
- ② ネット依存傾向別の割合に注目すると、「情報収集・コンテンツ利用」と「買い物」の項目については、スマートフォン保有者と未保有者の間で大きな差はないが、「オンラインゲーム」の項目ではネット依存傾向の高い人について 20.0 ポイントの差がある。
- ③ ネット依存傾向の高い人の数に注目すると、スマートフォン保有者の「コミュニケーション」の項目で最も多く、2 番目が未保有者の「情報収集・コンテンツ利用」の項目で、3 番目が保有者の「情報収集・コンテンツ利用」の項目である。
- ④ ネット依存傾向の低い人の割合に注目すると、スマートフォン保有者と未保有者との間で「コミュニケーション」の項目については両者の数値に大きな差はないが、「オンラインゲーム」の項目では、保有者は未保有者の数値の 2 倍以上となっている。

問 9 下線部 (i) に関連して、現代の医療と生命倫理についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 現代の医療では、患者の知る権利と自己決定権を重視する考えのもと、パターナリズムを排し、医療関係者が患者や家族に十分な説明を行い、患者や家族の意思を尊重するインフォームド・コンセントが重視されている。
- ② 現代の医療においては、生き方自体を大切にしようとする QOL よりも、人間の生命は神聖で絶対的であるという SOL のほうが重要だと認識され、日本では臓器移植用クローン人間が誕生し、重症患者への臓器提供が実施されている。
- ③ QOL を重視する観点から、末期患者の肉体的・精神的苦痛を取り除き、やわらげる緩和ケアを中心とし、患者が最期まで延命治療を受けることを保証するリビング・ウィルのシステムが整備されてきている。
- ④ iPS 細胞による再生医療技術が確立したため、従来であれば回復の見込みのないような病気やケガをした患者にも、治療法が見つかる可能性が生じるので、日本では QOL の観点から患者が尊厳死を選択することはできなくなった。

問 10 本文の内容に合致するものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 葵は、AI の技術がディープラーニングにより将来さらに進化したとしても、AI によって格差問題や日本の人口問題を解決できる可能性はないと考えている。
- ② 悠は、ビッグデータも活用しながら、社会問題を解決するための計画の立案から決定に至るまですべて AI に任せ、まったく格差のない社会を作るべきだと考えている。
- ③ 葵は、悠のアイディアに肯定的な態度を示すものの、AI による監視社会の可能性にいち早く気づき、悠に考え直すよう促している。
- ④ 悠は、AI についての自らのアイディアに懐疑的な姿勢を見せており、葵との対話の結果、AI の負の側面について考えようとしている。